

講義コード	1402 1401 1412 1411 1414	科目区分	専門教育科目(子ども生活学専攻)
(フリガナ)	センモンエンシュウ	(フリガナ)	イシカワショウイチ/クニヒロカツヨ/コネガワマドカ/ヤマグチキョウト/ヤスナガマサオ
授業科目名	専門演習(子ども生活学専攻)(前半)	担当教員名	石川正一/国広勝代/古根川円/山口季音/安永正夫
英文授業科目名	Special Seminar I		
基準年次(開講期)	3年次(通年)	履修形態	必修
曜日/時限/講義室	各ゼミ担当教員による		
授業の方法	演習	授業の方法(詳細情報)	演習中心
単位	2	週時間	1
授業のキーワード	資料、子ども、関心、テーマ、課題		
授業概要・目的	本演習では、最新の保育に関する資料や記事の内容をもとにして、自分が関心をもったテーマについて調べ、理解を深める方法を学ぶ。このことを通して、保育の内容について研究的な関心を持てるようになることを目指すとともに、保育士としての専門性を高めることを目的とする。		
到達度評価の評価項目	①保育内容や子育て支援に関心をもつことができるようになる。 ②保育の現状とそのあり方を研究的に追求する方法を学ぶ。 ③保育士としての専門性を高める。		
授業計画			
第1回	ガイダンス ～最近の話題を通して保育を考える～		
第2回	テーマと問題について① ～身近な社会の問題について考える～		
第3回	テーマと問題について② ～保育課題について考える～		
第4回	問題の発見① ～自己の関心に沿ったテーマを探索する～		
第5回	問題の発見② ～テーマの詳細を調べる～		
第6回	資料の収集① ～資料収集の方法を学ぶ～		
第7回	資料の収集② ～資料の整理の仕方を学ぶ～		
第8回	文献の活用の仕方① ～文献購読を通してテーマについて考える～		
第9回	文献の活用の仕方② ～先行研究を調べる～		
第10回	研究方法① ～多様な研究方法を学ぶ～		
第11回	研究方法② ～テーマに沿った研究方法を探索する～		
第12回	発表の準備① ～資料をまとめる～		
第13回	発表の準備② ～発表内容を推敲する～		
第14回	発表① ～自分のテーマ・課題を発表する～		
第15回	発表② ～それぞれの発表への講評を聞く～		
教科書・参考書等	適宜資料を配布する。参考文献として、森上史朗編(2016)『最新保育資料集』、ミネルヴァ書房。		
授業で使用する機器等	各ゼミ担当教員による		
予習・復習へのアドバイス	保育に関する最近の新聞記事等をチェックしておくことが望ましい。		
履修上の注意・受講条件等	・全学必修科目。		
成績評価の基準等	子どもに関するテーマを自分でみつけ、資料収集して、まとめることができたか、また、発表の方法についても評価する。 1) 授業に取り組む姿勢(30/100) 2) 提出課題(30/100)		
メッセージ			
オフィス・アワー	各ゼミ担当教員による		
その他			